



Discover a New World of Service

見つけよう 奉仕の新生面



会長 川村徳男 幹事 迎田 稔 クラブ奉仕 山口篤之助 職業奉仕 佐藤 忠 社会奉仕 吉野 勲 国際奉仕 新穂光一郎 青少年奉仕 藤川享庸

出席報告：会員 73名 出席 54名 出席率 73.97% 前回出席率 82.43% 修正出席 73名 確定出席率 98.65%

四つのテスト

- ① 真実かどうか？
- ② 好意と友情を深めるか？
- ③ みんなに公平か？
- ④ みんなのためになるかどうか？

職業奉仕 四つの反省

1. 顧客に対して：
 - 最上の品質、最高のサービスを提供しているか
 - 常に正直と親切を旨としているか
2. 従業員に対して：
 - 彼等の長所を十分に認めかつ買っているか
 - 安全で快適な職場を確保しているか
 - 苦情に対して公正な態度で対処しているか
 - 自ら誠実、正直、善意の手本を示しているか
3. 競争者に対して：
 - 公正な態度で接しているか
 - あなたは、行動をもって誠実を感銘させているか
 - 彼等とともに事業水準の高揚につとめているか
4. 協力者に対して：
 - 公平でしかも友情にみちた関係を保っているか
 - いつも支払をよくしているか

会長報告

川村徳男君

1. たいへん悲しいお知らせでございますが、会員の森田清治さんが、私どもの、早く良くなって例会にお顔を見せて欲しいという願いも空しく、去る24日朝、永眠されました。47年6月当クラブにご入会され、会計や会員拡大その他色々の面でクラブの発展に貢献された方で、クラブにとりまして、大きい明りが消えた気持ちでございます。まことに哀惜の念に堪えません。

森田さんのご生前の奉仕活動に感謝申し上げ、併せて、とこしえのご冥福を祈って黙禱をしたいと思います。皆さまご起立をお願いします。

(一分間黙禱)

2. 森田さんのご長男の隆幸さんが、クラブの皆さんにご挨拶したいということでお見えになってお

ります。よろしく願い致します。

3. 森田さんの葬儀が27日、昭和町の高運寺で行なわれ、故人のお人柄、立場を偲ぶ、まことに盛大なものでした。クラブから生花、香典、それに弔辞をあげてまいりました。
4. 26日は親睦ゴルフ大会がありました。成績は後程スマイルの際に発表があると思います。
5. ガバナーの公式訪問がお蔭さまで無事終了しましたことを感謝申し上げます。2・3指摘があったことについては、理事会に諮って対応を決めたいと思います。
6. ご承知のように一昨日、睦町の火災で幼い二人の姉妹が焼死されましたが、大変可愛想なことをしました。これから火を使うことが多くなりますが、皆さん、火の元には充分気をつけて下さい。
7. 次の例会までの行事

庄内空港の建設を推進しましょう

(1) ローター関係行事

10月はロータリー財団月間です。

次の例会日、11月6日は11月の第1例会日ですので、定例理事会が行なわれます。理事会のメンバーの方は11時半までお集まり下さい。

(2) 一般の行事

明日31日は世界勤儉デー。11月1日は灯台記念日ですが、明治元年のこの日に観音崎に日本初の洋式灯台ができたのだそうです。11月1日

はまた、自衛隊記念日でもあります。

11月3日は文化の日で祭日ですが、旧の明治節で明治天皇誕生日、戦後は新憲法が公布された日として、平和と文化の重要性を認識する日となりました。また、庄内百万石まつりで、ミス庄内コンテストや米俵みこしのパレードなど数々の催しが繰り広げられます。晴天であっていただければよいと思います。

森田清治君の告別式における弔辞

お別れのことば



また一つ、大きくて大事な灯火を失ってしまいました。

今ここに立ちますとき、在りし日のあなたのお姿が眼前に去来し、万感こもごも胸に迫り、追慕の念ひとしおのもの

がございます。

健康には人一倍気を配っておられたというあなたが、ご自分の健康管理の手のとどかないところで病魔に犯されていたとは、ほんとうに悔しいことでしたでしょう。

ご入院と聞いて病院にお見舞に伺いましたときは、ちょうど検査から部屋に戻ってこられたときで、その痛々しいお姿に、私も胸が締められる思いで、早々に辞去して参りましたが、あれから僅か一か月余、早く良くなって例会にお顔を見せて欲しいというクラブ会員一同の心からの願いも届かず他界されましたことは、まことに残念でなりません。

普段は決して多くを語られなかったのですが、何かの折にご意見を言われますと、信念をもって生きてこられた人のみが持つ、きらりと光る一言をお聞かせ下さいまして、私など大変勉強をさせ

て頂きました。

また、今年いただきました年賀状には、私が7月から会長になることについて励ましと労いのことばが書いてありましたが、半年も先の会長就任を気づかって下さる、そのように気をつく心の温い方でした。

そして最後の方に、今年はぜひ一緒に釣りに行きましょう、と小さく書いてありましたが、その釣も森田さんとはもうご一緒にすることができなくなってしまいました。

森田さんは、特に会計や会員増強の面でクラブの発展に多大の貢献をされまして、クラブの誰からも深く信頼され、今後一層のご活躍を期待申し上げておりました。

森田さん、長い間色々とお世話になりました。ほんとうに有難うございました。

どうぞ安らかにおやすみ下さい。心からとこしえのご冥福をお祈りいたします。

さようなら

昭和59年10月27日

国際ロータリー第253地区

鶴岡ロータリークラブ会長

川村徳男

幹事報告

迎田稔君

○全国ローターアクトクラブ名簿回覧中

○山形R.C.、山形西R.C.、鹿児島西R.C.会報回覧中
○大阪鶴見R.C.認証状伝達式のご案内が参っております。

と き 11月26日

○ I.G.Fへの参加のおすすめ

と き 11月10日(土)

当クラブがホストクラブの為、全員出席方お願

会員スピーチ

老タリア ン 放 談

石 黒 慶之助 君

委員長高橋良士先生より米山奨学会の話をするよう求められましたが、今月初めの例会で、委員長より完璧な情報提供があり、皆様充分ご理解を頂いたと考えます。高橋先生どうも有難うございました。

ところで、ガバナーの公式訪問も終り、ゆっくりした時、私共の親愛なる有力メンバーであった森田清治氏の急逝には全く驚ろき、痛恨の極みです。丁度相双分区 I.G.F で2晩泊りで出張し、昨日帰ったので葬儀にも欠席し、申し訳けなく思っています。会者定離、生者必滅は世の常ですが、これから働き盛り、地域社会の発展に期待された重要人物であり、残念でなりません。深く哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

私は悪運強く、2年前いわき平で倒れてから2年余りになって未だ生きております。脳溢血の後遺症は仲々治りませんが、毎日の診療に精一杯休まず従事し、平均年齢75歳の老人ホームを支え、壮年期の息子や娘を支援し乍ら、と言いたいところですが、或はうるさかられ乍ら自活しており、更にロータリーの奉仕に参加させて頂いておることは本当に有難いことです。

ロータリーは最近目まぐるしく変化しているようです。今回、手続要覧が大部簡略になり、I.G.Fの名前はどこにも見当たらないし、早坂P.G.の紹介された「黄金律」も消え、あの有名な奉仕活動の基本要綱とされていた決議23-34の本文も消えています。皆様から種々問い合わせがあり、私はどうなっているのか迷っていました。先日R.I.理事菅野多利雄氏より書面があり、理事会でもう少し平易に簡素化すべく検討中であり、次回規定審議会で正式な

いします。

(当件は、松田士郎フォーラム委員長よりも併せ報告がありました。)

文章に改める考えであり、廃棄されたのではないから、今まで通り活用してほしいとのことです。また I.G.F はクラブ定款第8条第5節にクラブの都市連合会と厳然と記載されており、これも生きております。1人1業の原則も拡大解釈され、同業3名までは入会できるように3年前から変わったわけですが、原則は変わっていません。

私は、ロータリー精神を知るためには、あまりにもバターくさい難解な文章が多く、20数年間まどわされて参りましたが、日本人本来の感覚でこれをとらえてみると、次のように要約できるかと思えます。即ち、「自他共存の快適な調和への無限の追求」が奉仕の理想への心がまえではないかと考えております。ガイガンディカーは「奉仕とは奉仕すべき人と物とを行動に結びつける心の状態」と申されました。皆様のご批判を賜りたいと思えます。

日本人は神道・仏教・儒教の精神で長い間教育を受けており、キリスト教的なバター臭いロータリー精神を消化することは仲々難しいのです。最近、江戸末期の大儒学者佐藤一斉先生の著「言志四録」を読み、私のように晩年を迎えた者にとって、過去の種々な誤ちを反芻し、人間としてのあるべき姿を教えられ、本当に勉強させられました。「言志四録」というのは皆様ご承知と思いますが、言志録、言志後録、言志晩録、言志叢録の四部を言います。

佐藤一斉先生の門下には佐久間象山、勝海舟、坂本龍馬、吉田松陰、木戸孝允、伊藤博文、山形有朋、西郷隆盛など明治の元勳が沢山おられます。言志四録の中で私の好きな言葉が沢山ありますが、そのうち私の最も好きな言葉「一燈を提げて暗夜を行く、

暗夜を憂うこと勿れ、只一燈を頼め。その一燈とは自己の堅忍不拔の向上心ではないかと思いますが、それは各自が自分なりに最も大切なものは何かによって一燈を定めて頂いてよいのではないかと思います。心の充実を考えずに、ただ利潤追及に急ぐ現代は何か狂っているのではないか、自由主義を自分本位に考え、責任とか義務を考えず、権利のみ主張する世相に痛恨をおぼえるのは私一人ではないと思います。

鶴岡クラブの今年度最大の行事に「教育 110 番」の開設があり、地区内各R.C.でも、或は地域社会からも高く評価されていることは、まことに嬉しいことですが、言志四録には「小児を訓うるには苦口を要せず、只欺く勿れの二字を以ってすべし」と要約しております。米山梅吉氏は、「他人からやられて嫌やだと思ふことを他人にしてはならない」とだけ教えております。子供達は生れ乍らにして良い子になろうと自分なりに頑張っているのに、周囲があまり干渉しすぎて逆に悪くしている場合が相当多いようです。父親の顔は冷たいものですが、父親の背中が暖かいものです。私は子供達に「俺の顔色などを

見ないで、父親の後姿を見なさい」と言って参りました。

私は、子供の教育は最も重要な親の任務と思います。私の恩師北大の中村教授は“子供教育にはウソト金をかけなさい。多ければ多いほど将来の稔りが多くなる。”と言っておられた。私も先生の言に従って2人の子供達には充分教育出資を行って参ったつもりであります。幼い頃には儉約を教え、長ずるに従ってだんだん出資額を多くして参りました。最近の親達はそれが逆になっています。幼い頃に甘かし、長ずるに従って学費をカットしているのは、子供を愚弄しているように思います。

ここで若い会員の方に言志四録の中から一言引用すれば、「当今の毀誉は懼るるに足らず、後世の毀誉は懼るべし。一身の得喪は慮るに足らず、子孫の得喪を慮るべし」何とぞ皆様、若いお子様方のご発展に充分ご支援されますようお願いいたします。これもロータリーの奉仕活動であると思います。「よく子弟を教育するは一家の私事に非らず、是れ君に事うるの公事なり。是れ天に事うるの職分なり」と考えます。

スマイル

- 嶺岸光吉君 27日の故森田清治氏の告別式のお礼として。
- 飯野準治君 27日のクラブコンペに優勝して。
- 新穂光一郎君 27日のクラブコンペに準優勝して。
- 鈴木弥一郎君 神社関係者大会にて表彰を受けて。
- 佐藤英明君 31日の請渡会の成功を期して。
- 川村徳男君 ガバナー公式訪問が無事終了して。
- 中田敏和君 10月23日のガバナー公式訪問の高出席率（98.65%）を記念して。

迎田 稔君 近火お見舞のお礼として。

ビジター

鶴岡西R.C. 菅原幸雄君・菅原年雄君
羽根田正吉君

(今週の担当者 福島三郎)